

3 重点取り組み事項

(1) 自立支援・介護予防の強化

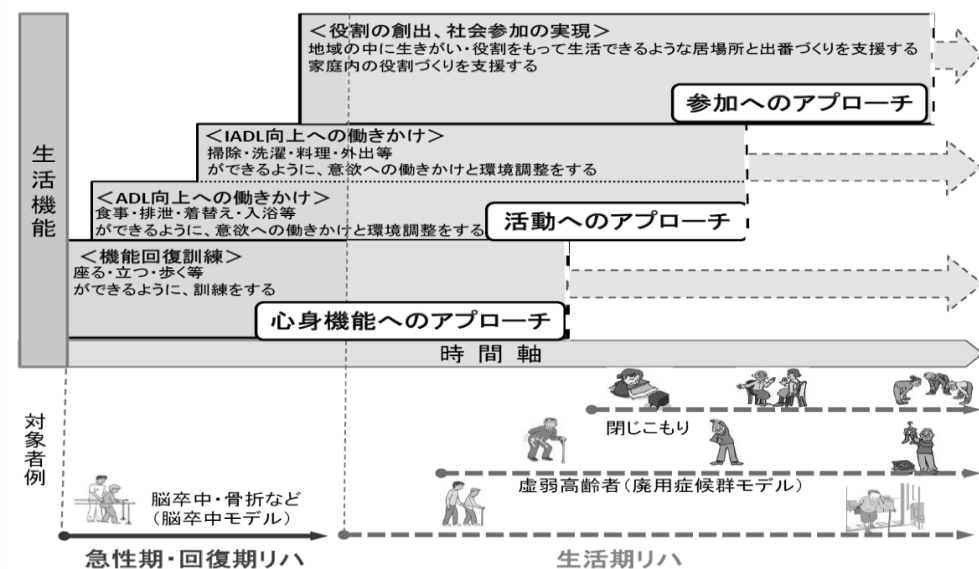
- 保健事業と介護予防の一体的な実施:国保データベースを活用した保健指導や健康教育・相談
- 一般介護予防事業の推進:関係機関との連携強化・情報共有、介護予防について周知啓発
- 生きがいづくりと社会参加の促進:ニーズや資源に応じた事業の検討、移動手段の確保の検討
- 介護保険制度の周知・健全な運営:介護給付の適正化(ケアプラン点検)

(2) 地域包括ケアシステムの深化・推進

- 介護予防活動への支援:住民主体の介護予防活動の拡大、リハビリテーション等専門職との連携強化
- 地域包括支援センターの体制強化:
地域包括性センターの役割、業務内容、設置数、人員体制等について検討
- 生活支援整備体制事業の推進:第2層における生活支援コーディネーターと協議体を段階的に配置
- 介護サービスの質の向上及び人材の確保への支援:
多職種及び近隣市町との情報共有・連携促進と支援制度の情報提供
- 自分らしく暮らせる介護サービスの基盤整備:リハビリテーションによる効果の周知

■リハビリテーションサービス提供体制の構築に向けて<リハビリテーションの目指す姿> ～本人の心身機能に応じ、家庭などで役割や生きがいを持ち自分らしく暮らす～

リハビリテーションによって、心身機能や生活向上といった高齢者個人への働きかけ、本人の意欲を高める支援を提供し、地域や家庭における社会参加の実現等も含め、生活の質の向上を目指します。



出典:厚生労働省「要介護者等に対するリハビリテーションサービス提供体制の構築に関する手引き」

(3) 認知症施策の推進

- 早期発見・早期対応のための体制づくり:
初期集中支援チームの充実・強化、認知症地域支援推進員の確保・育成
- 認知症見守り体制の整備:地域における見守り体制の強化(チームオレンジ)、認知症カフェの推進

第8期角田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の概要

1 角田市が目指す地域包括ケアシステム

2040年には「現役世代の人口急減」とともに認定率が高くなる85歳以上の人口がピークを迎えることも見込まれており、今後は高齢者が役割や生きがいを持ち、地域の中でともに助け合いながら日常生活を送っていくことが求められています。

そのため、『元気で生き生きと暮らし、家庭や地域で役割や生きがいを持って生活することができる地域』を目指し、地域や保健・医療・介護・福祉の関係機関・団体、県等、多様な主体による地域のネットワークを強化します。また、角田市が目指す姿を踏まえ、まちづくりの一環である地域包括ケアシステムを角田市関係各課一丸となって深化・推進していきます。

2 計画の大綱・体系

【第5次長期総合計画 角田市の目指す都市像】人と地域が輝く 田園交流都市 かくだ

【計画の大綱】

みんなで支えあう健康で元気なまち

【基本理念】

すべての市民が自分らしく暮らせるまちづくり

【基本目標】

I 元気で自立した生活を目指して

高齢者が健康で自立した生活を送ることができるよう、地域での自主的・積極的な介護予防・健康づくりを推進します。また、心身ともに健康な状態を維持していくため、生きがいづくりや社会参加、生活環境の整備に取り組みます。

II みんなで支えあうまちづくりを目指して

高齢者が生涯を通じて、地域で安心して暮らし続けるため、地域包括支援センターの機能強化や医療・介護の連携強化、緊急時等も踏まえた地域における助け合い・支え合いの支援体制づくりを推進します。また、高齢者が安心して暮らせるよう、認知症施策の推進と虐待防止等の権利擁護に取り組みます。

III 持続可能な介護保険制度を目指して

支援が必要な高齢者が、必要に応じて適切な介護サービスを利用でき、自立支援・重度化防止につながるよう、介護サービスの充実と介護保険事業の健全な運営に取り組みます。

【重点取組事項】

- (1) 自立支援・介護予防の強化
- (2) 地域包括ケアシステムの深化・推進
- (3) 認知症施策の推進

すべての市民が自分らしく暮らせるまちづくり

■角田市の地域包括ケアシステムの目指す姿■

～元気で生き生きと暮らし、家庭や地域で役割や生きがいを持って生活することができる地域～

角 田 市

・介護保険事業の健全・円滑な運営、・自立支援、介護予防・重度化防止の推進、・介護給付など対象サービスの充実・強化 など

在宅医療・介護連携推進事業

- ・地域の医療・介護の資源の把握
- ・在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- ・切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- ・医療・介護関係者の情報共有(医療・介護連携のための共通様式の運用)
- ・医療・介護連携に関する相談窓口(角田市地域包括支援センター)
- ・医療・介護関係者の研修、地域住民への普及啓発
- ・在宅医療・介護連携に関する関係市区町村との連携

要介護状態になっても家庭などで役割を持ち自分らしく暮らす

地域包括支援センター
ケアマネジャー
・相談業務やサービスのコーディネート

<介護が必要になったら>

介 護

- 在宅系サービス
・訪問型、通所型、地域密着型サービス など
- 施設・居住系サービス
・特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知症対応型グループホーム など

<病気になったら>

医 療

- 日常の医療
- ・かかりつけ医、歯科、薬局 など
 - ・地域の連携病院(急性期、回復期、慢性期 など)

活動的で生き生きとした生活を送る

住 ま い

- ・自宅
- ・賃貸住宅、市営住宅
- ・サービス付き高齢者向け住宅 など

役割や生きがいを持って生活する

地域ケア会議

- ・在宅医療・介護連携推進に関する会議
- ・生活支援体制整備推進に関する会議
- ・高齢者見守りネットワーク推進に関する会議
- ・庁内関係部署との検討会
- ・自立支援のための個別会議

認知症になっても笑顔で過ごせるまち

- ・認知症サポーターの養成
- ・認知症情報誌の発行
- ・認知症地域支援推進員
- ・認知症初期集中支援チーム
- ・認知症高齢者見守り体制の強化
- ・認知症カフェ など

介護予防・日常生活支援 総合事業

- ・訪問型サービス
- ・通所型サービス
- ・介護予防把握事業
- ・介護予防普及啓発事業
- ・地域介護予防活動支援事業(サロン活動支援等)
- ・地域リハビリテーション活動支援事業

活動的

- ・就労、畑仕事、庭の手入れ
- ・日常生活動作(掃除、調理、洗濯など)、趣味
- ・高齢者サロン、老人クラブ活動、ボランティア活動
- ・脳いきいき健康楽習教室、いきいき百歳体操
- ・生涯学習活動
- ・高齢者の健康・体力づくり など

介護予防

<いつまでも元気に暮らすために>

- ・地域の健康課題の把握
- ・健康相談、健康指導

高齢者の保健事業

社会参加を通して役割や生きがいを持って生活する

- ・地区振興協議会・行政区・民生委員児童委員・ボランティア・NPO など
- ・地域の助け合い(見守り・声かけ、話し相手、ゴミ出し)
- ・外出支援(デマンドタクシーなど)、移動販売 など

生活支援

<困ったときは、「助けて」と言える地域に>

- <生活支援コーディネーター>
- ・課題の抽出、対応策の検討
- ・資源の充実に向けた取組の実施、施策提言
- ・地域の宝探し(地域にある助け合いの発掘)
- ・支援が必要な人と地域の助け合いを結びつける

生活支援体制整備事業

認知症総合支援事業